

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月21日			
平成16年度	事業コード	13110	電話	042-769-8341
担当部課名	保健福祉部	保育	課	保育 係
事務事業名	病後児保育事業			
予算上の事務事業名	病後児保育事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第 3 章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第 1 節	子育て環境づくりの推進	15 年度
施策名	第 1 施策	1 保育環境の整備充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

「民間児童厚生施設等活動推進等事業費等補助金交付要綱（平成16年度からは、国が別要綱において設定予定）」

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

国庫補助事業(県市協調事業)

## 6 受益者負担

あり

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
保育園での通常保育が困難な病後回復期の児童を、専用の施設で一時預かることにより、当該児童の病状に応じた快適な保育環境の提供とともに、保護者の子育てと就労の両立支援を図るもの。	市内に居住又は通所する生後概ね6か月以上の保育所在籍児童	
	対象数	単位
	6,563	人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
事業委託先として、「社会福祉法人さがみ愛育会」と業務委託契約を締結するとともに、事業の実施に係る補助金の交付等を行った。商店街にある空き店舗を利用した施設であるため、保育課〔厚生労働省関連〕だけでなく、商業観光課〔中小企業庁関連〕関係分の補助メニューも活用した。 【事業費】 施設整備関係 ... 設計監理費、施設改修費 19,437千円(うち国補助額5,848千円) (予算額) 運営費関係 ... 施設賃借料、運営委託料 13,664千円(うち国〔県〕補助額7,353千円) 【特財メニュー】 「コミュニティ施設活用商店街活性化事業(中小企業庁)」 「民間児童厚生施設等活動推進事業費等補助金(厚生労働省)」 「病後児保育補助事業補助金(県児童福祉課)」		
(4)個別計画の概要	概要	
計画名	新さがみはら子どもプラン(相模原市児童育成計画)	市内3か所での実施を目標としながら、病後児保育に対する需要や効率的施設運営の確立等に配慮した中で、当面1か所での実施に努める
計画年次	13年度～17年度	

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
	病後児保育施設設置数	指標式: 目標(当面)設置施設数(1) ÷ 既設置施設数(1) × 100 指標単位: % (達成率)	子どもプランにおける当面の目標施設数を、事業推進に係る成果として設定するもの(当面の実施施設数: 1か所)			100	100	100
	病後児保育施設利用者数	指標単位: 人	実際の施設利用者数(延べ人数)を、事業実施に係る活動指標として設定するもの			218	300	300

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位: 千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	人員・時間数			0.2	0.2	0.2
	人件費					
	その他経費					
	合計	0	0	27,804	16,045	16,045
	特定財源			10,255	9,202	9,202
	対象数(人)			6,563	6,627	6,600
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	4,236.5	2,421.2	2,431.1

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	「新さがみはら子どもプラン」における目標施設数(3箇所)に対し、現在の施設数は1箇所のみであるため、その視点においては一部達成されていないと言える。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 病気回復期にあり、集団生活が困難な児童を抱える保護者の就労支援として、当該事業は必要なものである。また、国の補助対象は市町村が行う事業でされているが、事業運営は社会福祉法人に委託しており、民間活力を活用している。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	平成15年度(8月)からスタートした事業であるが、利用者も徐々に増加しており、保護者のニーズに対応できている。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	事業に対する意欲や理解等があり、市内での認可保育所運営実績のある社会福祉法人に事業実施を委託していることから、同法人設置保育所との連携等により、一体的、効率的な運営が行われる。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	利用料として、通所保育園の保育料とは別に2,000円を徴収しているが、生活保護世帯や市民税(所得税)非課税世帯については減免規定を適用し、利用者の生活実態に応じた費用負担を求めている。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
本事業は平成15年8月からスタートしたものであるため、今後、利用対象者に向けた周知の徹底を図る等、事業の認知度をより高めることにより、利用者の増加が図れるものと考えられる。また、利用者の利便の向上に配慮する観点から、施設配置に係る地域バランスについての検討も必要である。		今後の事業実施状況や、次世代育成支援対策に係る「行動計画」策定のための「ニーズ調査」の結果等を踏まえ、必要な施設数(目標量)の設定を行う必要がある。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		県内では横浜市(5か所)、川崎市(1か所)、横須賀市(1か所)で、近隣では町田市(3か所)、八王子市(1か所)でそれぞれ実施している。横須賀市は直営(市立病院併設施設)で運営しているが、本市では社会福祉法人への業務委託を行い、効率的な事業運営に努めている。なお、横須賀市以外の自治体では、本市と同様に社会福祉法人等への業務委託を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	現在までの施設利用者数は、年度途中開所の影響もあり必ずしも多いとはいえないが、今後、事業に係る情報提供や周知の徹底に努めるとともに、利用者の使い勝手等を踏まえ、地域的なバランスを考慮した中で新規施設を設置するなど、潜在的な利用希望を持つ保護者のニーズにも応えていくことが必要であるとする。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	病気回復期にあり、集団生活が困難な児童を抱える保護者の就労支援として当該事業は必要なものであるため、今後も継続すべきである。
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--